

National Priority List シリーズ 2

「ラブカナル地区、スーパーファンドリストから外される」

EPA ウェブ 井上明子 翻訳

2004 年、9 月 30 日（木） ニューヨーク

アメリカ環境保護庁（EPA）は本日、スーパーファンド全国浄化優先順位リスト（NPL）からナイアガラ郡のラブカナル地区を外すとの決定を下した。浄化作業は完了し、現在まで 15 年以上に渡る監視を経て、浄化の目標に達したと判断された。一連の計画を通して、EPA とニューヨーク州環境保護局は一丸となって、運河の廃棄物を安全に処理したので、もう周囲の土壌や地下水に漏れはなく、また運河の近隣の土地も活性化された。

“ラブカナルは我々に教えてくれた。見捨てられた、危険な廃棄物のある土地、特に人々の健康に脅威となる地域に必要なのは、それを解決するメカニズムなのだ。” EPA 地域担当官であるジェーン・M・ケニーは言う。“数十年経って、ラブカナルはスーパーファンド法の下で、私達の成功のシンボルになった。ラブカナルは再度、繁栄の土地となった。”

70 エーカーのラブカナル地区は、1942 年から 1952 年に投棄された有害な科学物質のごみ廃棄場があった地だった。1953 年に、最初の 16 エーカーの有害なごみ廃棄場が埋められて、近くに学校と 200 以上の住宅が建てられた。住民は 1960 年代の初期に悪臭と残留物について報告している。1970 年代の研究で、おびただしい量の有害な化学薬品がごみ廃棄場から流れ出て、近隣の水路を汚染したことがわかっている。1978 年にはヒュー・キャリー知事が、運河の周囲の住民の家を買い上げるようにと初めて指示した。1978 年と 1980 年には、ジミー・カーター大統領がふたつの個々の環境の緊急事態を宣言した。そして、その結果、運河の周囲 10 ブロックに住む約 950 家族が立ち退かされた。緊急非常事態宣言地区は、350 エーカーに及ぶ近隣の土地を含んでいた。1980 年には、見捨てられた有害な廃棄物のある土地を処理するための、包括的環境対処法（CERCLA）（またはスーパーファンド法として知られている）が主としてこの問題を解決するために可決された。

. 今日、ラブカナルとして知られている地域は、再び繁栄した地域となった。40 エーカーは、人為的に境界線が引かれ、土が被され、仕切りとなる排水システムに囲まれている。その土地からの汚染は浸出水集排水処理設備によってもコントロールされている。運河の西と北の地域は再生し、200 以上のかつての空き屋が改装され新しい客に売られ、新しく 10 件のアパートも建てられた。運河の北の地域も、軽工業や商業の再開発地区として販売さ

れている。

ラブカナル地区はこれからも監視し続けられ、万一土地の状態が変化した場合でも浄化作業を行ってもらえる資格がある。

ラブカナルの削除により、ナイアガラ郡では3カ所の地区が NPL から削除されることになる。先月、ナイアガラ郡廃物地と102番街ごみ廃棄場がリストから外された。

ラブカナル文書

連邦広報 ラブカナルの削除に関する通知